

合格体験記

愛知淑徳大学文学部国文学科 総合型選抜(学科・専攻 適性入試) T.H 君

私は高校入学後、教員になるという一心の下で勉強してきました。高校に入学して、授業のわかりやすさに驚かされ、中学までまったく勉強をしてこなかった私が成績上位を取ることができ、「自分も教育を通して誰かに寄与したい。」と考えるようになりました。2年生になってから初の進路面談で、愛知淑徳大学の名前を知り大学案内を読むと、教育理念と自分自身の目標としている人間像が一致し、是非入学したいと思うようになりました。

これから受験に臨むみなさんに助言をするならば、「自分の目標を明確化」と、「目標実現に不足している部分の把握」の2つを意識してください。自分の目標を明確化することで、何のために自分が勉強しているのかを意識することができ、モチベーションを維持することができます。また、目標実現に不足している部分を把握することで、目標実現に向けて何をすべきかがわかり、こちらでもモチベーションを維持することができます。またそれだけでなく、苦手部分や不足している部分を改善・充足させることができます。

最後に、合格できるか不安を抱える人もいるかと思います。自分を信じてください。努力をしていれば報われます。総合学科という性質上いろんな人がいます。周りに流されず目標実現に向けて行動できるかはあなた次第です。もう一度言います、自分を信じてください。これを読んでいるみなさんの目標が実現されることを祈ります。

日立ターミナルメカトロニクス株式会社 (事務職) K.H さん

私は高校に入学した時から卒業後の進路は就職すると決めていました。事務職に就きたいと思っていたので、資格の取得に専念しました。

この企業に決める前は、別の企業の事務職を希望していました。しかし先生から、「瀬戸北にしか求人が来ていない企業があって、事務職だからぜひ行ってほしい」と勧めてもらい、今の企業に応募しました。一番大変だったことは面接練習です。担任の先生と夏休み中たくさん練習をし、家でも母に手伝ってもらいながら練習をしました。緊張すると顔が引きつってしまうので、常に笑顔で面接をする練習を心掛けていました。外部講師の方からは厳しい言葉をもらいそれを素直に受けとめ改善していきました。

就職活動は自分一人で考えず周りの大人に相談することが一番大切だと私は思います。企業を選ぶにも、志望理由を考えるにも、些細な事などなんでも相談してみるといいと思います。皆さんの進路が無事に決まることを願っています。

公立瀬戸旭看護専門学校 看護学科 (指定校推薦) K.N さん

私は高校に入学した頃、看護師という職業を強く志望していました。それから公立瀬戸旭看護専門学校に入学するため、指定校推薦を目標に日々努力してきました。

私が高校生活で頑張ったことは主に勉強です。定期考査では常に上位をキープできるように課題を反復したり、自分が覚えやすい暗記方法を見つけたり、工夫をしました。初めて漢

字検定2級にも挑戦しました。加えて私は部活に所属していなかったため、3年間補習に参加していました。普段の授業よりもさらに深掘りしていくので、分からない問題や難しい問題にも前向きに取り組めました。また、ボランティア活動にも参加し、誰かの役に立つことで自分の成長を感じることもできました。

指定校推薦をいただくことができたときは嬉しさと入学試験に対する不安がありました。しかし、先生方に手厚いサポートをしていただいたことで自信を持って、入学試験に臨むことができました。面接担当の先生や担任、副担任の先生方、陰ながら支えていただいた多くの先生方の協力がなければ、合格は非常に難しかったと思います。先生方、そして勉強ができる環境を整えてくれた家族への感謝を忘れずに、残りの高校生活も卒業後も新しい環境で頑張っていきたいと考えています。

最後に、後輩の皆さんに大切にしたいことは日々の努力と周りの人への感謝です。新しいことに挑戦することも自分自身の成長に繋がると 생각합니다。皆さんの希望の進路が実現することを祈っています。

愛知学院大学 短期大学部 歯科衛生士科（総合型選抜） M.H さん

私は、患者一人一人に寄り添い、適切な治療をして安心感を与えることが出来る歯科衛生士になりたいと思っていました。将来自分がどのような歯科衛生士になりたいのかを考えた時、何歳になっても使う大切な歯だからこそ、適切な治療をして患者の健康の増進に繋がる手伝いができる歯科衛生士になりたいと考えました。この夢の実現ために、どの大学、専門学校へ進学するのがベストなのかを知るため、インターネットで調べたり、オープンキャンパスに参加したりしました。様々な学校を比較した結果、自分が将来になりたい歯科衛生士の知識を一番学べる、愛知学院大学短期大学部へ進学したいと思いました。私から後輩の皆さんに伝えたいことがあります。

長所を作ってください。なんでも構いません。ポジティブ、素直、誠実でもいいです。長所を知っておくことは、これからの進学、就職をする際、とても大事になってきます。また、長所ができると自分の強みを知ることができ、自信にも変わります。長所を作るためには経験が大事になってきますがそんなに大きな経験を積む必要はありません。私の場合、高校3年間たくさんの人と話し、コミュニケーション能力を得ることができ、この能力を自分の長所にすることができました。このように毎日の出来事でも長所を作ることは出来ます。日常の些細なことに目を向けて見ると以外にも長所を見つけることが出来ます。

最後に、どんなことでも諦めないでください。自分がどれだけその目標へ向かって全力で頑張れるかで、将来は決まります。一歩ずつでも進み続ければ、必ず合格することができます。そして、最後には自分を信じてあげてください。努力した分必ず報われます。

後輩の皆さんが目標を達成できるように願っています。

人間環境大学 看護学部 看護学科（公募制推薦入試） T.H さん

私は公募制推薦が非常に落ちやすいものだと思った時、勉強が苦手な自分は落ちるのではないかと思っていました。そんな私でも合格できた秘訣を自分なりに思い返した時、次の3つのことを私は高校生活の中で大切にしていました。

まず1つ目は部活動です。私は硬式野球部に選手兼マネージャーとして活動しました。毎日

きついことが沢山ありましたが、辞めずに頑張れたことは自己PRの内容や自己の成長にも役立ったと思います。何事も諦めず継続することが大切です。

2つ目は日々の勉強です。私はあまり勉強が得意ではないので定期テストで常に上位であるためにとても努力しました。テスト期間中は深夜2時まで勉強をすることが多々ありました。とても苦しかったですが入試のために今コツコツ勉強をすることが大切だと思い、日々の勉強を頑張りました。

3つ目は友達を作ることです。私は看護師になるという同じ夢を追いかける友達がいました。目指す学校は違っても、同じ夢に向かって一緒に頑張っていました。正直私はその子がいなければこうやって合格することもなかったと思っています。辛い時はいつも寄り添ってくれました。受験は1人の力だけでは無理だと思います。ぜひ共に頑張ってくれる良き友達を作ってください。

最後に今の3つよりも大切なことを言います。それは先生に頼るということです。瀬戸北の先生は皆優しいです。とても寄り添ってくれます。入試のことはもちろん日頃の悩みや相談なども親身に聞いてくれます。そして合格した時には自分の事のように喜んでくれます。瀬戸北の先生はとっても信頼できる人達です。進路決定において悩んだりあるいは困ったりしたらぜひ先生に頼ってみてください。

皆さんの進路がより良いものになるよう願っています。

愛知学泉短期大学 生活デザイン総合学科 指定校推薦 M.Tさん

私は指定校推薦で愛知学泉短期大学に合格しました。指定校推薦で受験するために私が頑張っていたことが2つあります。

1つ目は、生徒会などの役職を経験することです。生徒会や室長・副室長、部長・副部長などを体験することによって、自分の行動に責任感を持つようになります。そして、リーダーシップを取れるようになり、周りに気を配る重要さを知ることが出来ます。ですので、私は副室長や副部長、生徒会執行部を経験して、その力を得られるよう努力しました。

2つ目は、資格を取ることです。進学や就職関係なく、資格を持っているだけで有利になることがたくさんあります。一般的な英検や漢検はもちろん、ビジネス系列や生活科学系列など、専門的な検定がある人はそれらを取得することで自分の将来の力になると思います。私はビジネス系列で、2年生の時に、多くの検定を受けられる機会があり、そのほとんどに合格することができ、たくさんの資格を取得することが出来ました。

私が、3年間の高校生活で、一番大切だと思ったことは「コツコツ努力」することです。私は、中学生の時まで、課題は期限ギリギリで終わらせていたり、最後まで残して、まとめて行動したりしていました。しかし、高校に入ってから、課題などを少しずつ進めていくことで自分の行動に余裕を持てるようになり、他のやりたいことにも取り組めるようになりました。ですので、後輩の皆さんにも少しずつでも行動することを心がけてほしいと思います。その時々で行動しても、評価はその瞬間しか得ることができません。私は、コツコツ頑張ることで、3年間の評価がより高くなると思っています。もし、この先困難にぶつかったとしても、これまで積み上げてきた努力が必ず力になると信じています。

皆さんの将来がより良いものになることを願っています。

えきさい看護専門学校 一般選抜 Y.H さん

私は将来看護師になりたいという目標から、看護専門学校への進学を志望しました。訪問看護や老人ホームで働く看護師について詳しく学ぶことができることや、学校の設備が整っていることをオープンキャンパスを通して聞く事ができ、えきさい看護専門学校への入学を志望しました。

まず、合格のために一番頑張ったのは勉強です。私は勉強が出来る・得意というわけでもないため、受験勉強の進め方について悩んでいました。そこで私は1人で進めるのではなく、各教科の先生に分からない所は積極的に聞きに行くようにしました。他学年の先生や自分が話しやすい先生などに相談した事で、参考書を貸して下さったり、一緒に解いて考え教えて下さったりもしました。

そして次に面接練習です。面接練習は何回も繰り返し練習する事が大切です。えきさい看護専門学校では個人面接の他にグループ討論の面接もあります。今まで個人面接の練習しかしていなかったため、最初の練習ではとても緊張していました。しかし、グループ討論の練習の為に、部活動の仲間や同じ系列の同級生や他学年の生徒、先生方にも声をかけ協力をしてもらいました。何回か練習を重ねて行くことで、自分の中で自信が付き、グループ討論の面接でも個人面接でも、自信を持って話をする事が出来ました。

また、私が高校3年間を通してやっていた良かったと思うのは、ボランティア活動です。様々なボランティア活動に参加をしていたことで、面接練習で話す内容の幅を広げることができ、将来のことなどに関連付けて話すことも出来ました。

最後に、私が皆さんに伝えたいことは、最後まで諦めないで下さい。辛いこともこれからあるかもしれませんが、努力は絶対に報われます。今を頑張っている自分を褒めて信じて下さい。1人で解決せず先生方をたくさん頼って下さい。必ず助けになって支えてくれます。

皆さんの将来に桜咲くことを祈っています。